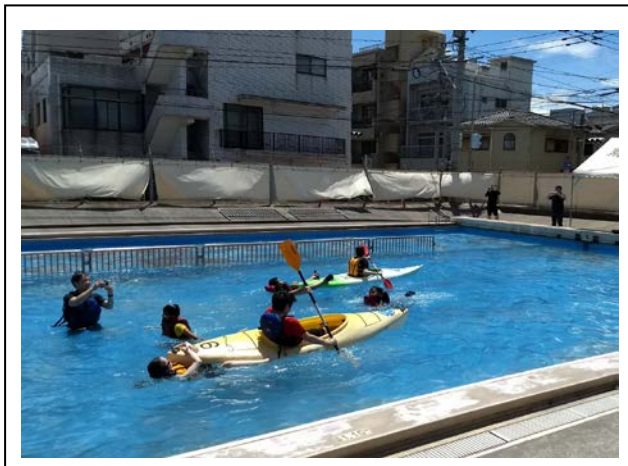


## 事業報告書

1 支援団体名	鹿児島大学法文学部 酒井研究室								
2 事業名称	水害に備えた小学校×大学×地域の連携防災まちづくりワークショップ								
3 実施日時	8月12日、11月10、11日、2月17日								
4 実施場所	荒田小学校（荒田小学校校区公民館や体育館、プール等）								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>（事業実施状況・内容）</p> <p>（1）体験学習会「そのときどうする！水害が発生した際に知っておくこと～留学生とともに楽しく学ぼう～」(8月12日)</p> <p>①鹿児島県で発生した水害の実状やダムの重要性について講義、②防災・減災に関する意見交換会、③水難事故を想定した実践的な救助訓練</p> <p>（2）「避難生活を体験しよう！～荒田小学校災害防災訓練～」(11月10、11日)</p> <p>①救命・消火訓練、防災に関する講義、②避難所体験、③ハラル食品を用いた炊き出し、④留学生による世界の災害・防災に向けた取り組みの紹介、⑤防災まち歩き</p> <p>（3）「小学校×大学×地域による荒田校区防災座談会」(2月17日)</p> <p>①（1）、（2）事業の成果報告動画の鑑賞と意見交換、②次年度事業に向けたワークショップ</p> <p>（事業実施効果）実施成果の1つ目は、水害等の防災に関する学習機会の提供と意識の向上である。留学生の多くはこの機会を通して水害等の自然災害が発生するメカニズムやダムの重要性、防災対策等についてはじめて学ぶことができた。成果の2つ目は、地域住民と大学並びに小学校の連携が強化されたことである。これまで地域住民と大学並びに小学校の連携はなかったため、連携する契機となった。また本年度の事業成果を踏まえうえで今後も連携を強化することで合意がなされた。</p>								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td> <td>110名</td> </tr> <tr> <td>（1）主催者参加</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>（2）日本人参加（（1）を除く）</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>（3）外国人参加（（1）を除く）</td> <td>15名</td> </tr> </table>	総人数	110名	（1）主催者参加	20名	（2）日本人参加（（1）を除く）	75名	（3）外国人参加（（1）を除く）	15名
総人数	110名								
（1）主催者参加	20名								
（2）日本人参加（（1）を除く）	75名								
（3）外国人参加（（1）を除く）	15名								
7 今後の方針	<p>今後も小学校や大学、地域コミュニティーで連携をはかりながら、さらに多様なセクターを巻き込んで自然災害に関する勉強会やワークショップ、体験会等を実施する予定である。また、8.6水害の記憶を風化させないためにも被災した人びとへの聞き取り調査等も実施予定である。</p>								

水難訓練の風景



地域振興局建設部河川港湾課職員から  
ダムに関する講義



留学生と小学生による救命訓練実施



防災まち歩き



ハラル食を使った炊き出し



次年度に向けたワークショップ

